

平成 24 年度第 1 回都道府県地域がん診療連携拠点病院および東京都認定がん診療病院研修会(放射線技師等)の報告

がん研究会有明病院 放射線治療部 佐藤智春

- 開催日時：平成 24 年 8 月 4 日（土） 9:50～16:20
- 開催場所：がん研究会研究所 1 階 吉田講堂
- テーマ：「IMRT の線量検証（評価点線量と線量分布の測定および評価方法）」
- 目的：IMRT の線量検証である評価点線量検証と線量分布検証について、測定方法と評価方法を習得する。
- 参加者： 37 施設 148 名（拠点病院以外の 4 施設 18 名を含む）
- プログラム：

9:50～10:00 開会の挨拶

10:00～11:00 「基礎講座」 外部放射線治療装置の幾何学的 Q A
公益財団法人がん研究会有明病院 高橋 良

11:00～12:00 「ランチョンセミナー」
3D 治療検証 患者線量解析システム COMPASS の紹介
東洋メディック株式会社 北村 崇史

13:00～14:30 IMRT における評価点線量の測定と評価方法
国立がん研究センター中央病院 岡本 裕之

14:40～16:10 IMRT における線量分布測定と評価方法
藤田保健衛生大学 林 直樹

16:10～16:20 閉会の辞

- アンケートの結果：回収率 98%（143 人／148 人）
 1. 放射線技師の経験年数は 10 年以上（51%）、10 年未満（49%）となり、前回（各々 60%と 40%）と比べて若い層の参加者が多かった。また 5 年未満の新人が 25%となり、前回(22%)、前々回（18%）と比べて年々新人が増加傾向にある。
 2. 放射線治療の経験年数は、3 年未満の初心者が 36%、3～10 年の中堅が 42%、10 年以上のベテランは 22%であり、前回（各々 38%、38%、24%）と比べて治療の中堅層が若干多くなった。
 3. 放射線治療関係の学会入会率は、日本放射線腫瘍学会 46%、日本放射線技術学会治療分科会 51%となり、前回（腫瘍学会 56%、分科会 44%）と比べて日本放射線

腫瘍学会の入会率が下がった。また、日本放射線技術学会の入会率も 73%と前回 (79) %よりも下がっているが、今後これらの学会に新人が徐々に入会して、次回の開催時には多少入会率が増加することが予想される。

4. 治療関連の認定取得状況については、放射線治療品質管理士 26%、放射線治療専門技師 26%、医学物理士 14%という結果になった。(全階は各々26%, 29%, 19%) 全国的には取得人数は毎年増えているが、本研修会の参加者の取得率について今後の動向を見ていきたい。
5. 各講義内容について、ほとんどの受講生が理解できた(講義順に 92%, 82%, 92%, 86%) と答えており、本研修会の目的は達成できたと考える。

➤ 受講生の意見と要望 (19 件)

1. QA, 検証法についてベンダー間の違いがあれば取り上げてほしい
2. 固定具等の使い方を取り上げていただきたい
3. TBI について各病院の手法や標準化について知りたい
4. 陥りやすいピットホールについてのテーマで
5. 放射化物に対する対応について講義してほしい
6. 90 分の講義時間は長い
7. QA は実技がないと理解が難しい
8. 研修会の案内を病院長宛に出してほしい (本研修会の必要性を病院上層部に理解してもらうため)
9. スタート時間をもう少し早くしてほしい (現在 9 時 50 分)
10. 資料にスライド番号を入れてほしい
11. 大変わかりやすい講義で勉強になった (9 人)

以上